

VI 広報、人材育成

1. 広報

下記の 1-1 一般公開と 1-2 施設見学及び学校研修の受入れを合わせた全見学者数は 1,025 名であった。

また、Web Magazine も 2 回発行し、当研究センターの広報に努めた。

1-1 一般公開

当研究センターを地域住民や県民に広く知ってもらうため施設の公開を実施している。

2016 年度は 10 月 1 日（土）に開催し、252 名の入場者があった。中でも実験ホール見学ツアーは、例年の一番人気となっている。

【公開内容】

- ・わくわく科学教室（佐賀国際重粒子線がん治療財団 北村 信氏、産業技術総合研究所 笠嶋 悠司氏）
- ・実験ホール見学ツアー
- ・工作・体験（ラビリンスボックス（迷宮の箱）をつくろう）
- ・産業技術総合研究所展示（「パロ」と遊ぼう、太陽電池を使ったおもちゃで遊ぼう）
- ・九州シンクロトン光研究センター実演（虹の七色を見よう）
- ・企業展示（株式会社ニコンインステック、田口電機工業株式会社）
- ・パネル展示（産業技術総合研究所、佐賀県工業技術センター、佐賀県林業試験場、鹿児島県工業技術センター、香楠中学校科学部、佐賀大学、九州大学、住友電気工業株式会社、当研究センターの加速器、県有ビームライン）
- ・その他（クイズラリー、シャボン玉で遊ぼう）



1-2 施設見学及び学校研修の受入れ

年間を通じて、専門の研究者から一般市民まで広範な分野から見学者を受け入れ、当研究センターの紹介を行っている。また、中学校や高等学校及び大学等からの要請により学校研修の受入れも行っており、科学への理解を深めてもらうことにも努めている。

1-3 施設紹介

当研究センターの装置や設備の概要については、学会や展示会等でポスターによる広報も行っている。

2016 年度に参加し、口頭発表及びポスターの展示等を行ったものは次のとおりである。

- 第7回サイエンスカフェ in 鳥栖
 - ・開催日：2016年6月17日
 - ・開催地：産業技術総合研究所九州センター
- 第20回機械要素技術展
 - ・開催日：2016年6月22日～24日
 - ・開催地：東京ビッグサイト
- 第10回九州シンクロトン光研究センター研究成果報告会
 - ・開催日：2016年8月3日
 - ・開催地：サンメッセ鳥栖
- 2016年X線トポグラフィー研究会
 - ・開催日：2016年8月5日
 - ・開催地：大阪大学 吹田キャンパス
- 第13回日本加速器学会年会
 - ・開催日：2016年8月8日～10日
 - ・開催地：幕張メッセ国際会議場
- SAGA ものすごフェスタ 2016
 - ・開催日：2016年8月27日～28日
 - ・開催地：佐賀県総合体育館
- 第3回放射光産業利用支援講座
 - ・開催日：2016年9月2日
 - ・開催地：じばさんびる（兵庫県姫路市）
- 産業技術総合研究所九州センター一般公開
 - ・開催日：2016年9月3日
 - ・開催地：産業技術総合研究所九州センター
- JASIS 2016（光ビームプラットフォーム）
 - ・開催日：2016年9月7日～9日
 - ・開催地：幕張メッセ国際展示場
- The 7th International Conference Channeling 2016
 - ・開催日：2016年9月25日～30日
 - ・開催地：シルミオーネ / イタリア
- モノづくりフェア 2016
 - ・開催日：2016年10月26日～28日
 - ・開催地：マリンメッセ福岡
- 平成28年度応用物理学会九州支部学術講演会
 - ・開催日：2016年12月3日～4日
 - ・開催地：対馬市交流センター

※予稿集への広告のみ
- 平成28年度九州・沖縄産業技術オープンイノベーションショー
 - ・開催日：2016年12月7日
 - ・開催地：電気ビル共創館（福岡市）
- 第30回日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウム
 - ・開催日：2017年1月7日～9日
 - ・開催地：神戸芸術センター
- 九州大学エネルギーウィーク 2017 シンクロトン光シンポジウム
 - ・開催日：2017年2月2日
 - ・開催地：当研究センター
- 第16回国際ナノテクノロジー総合展・技術会議（nano tech 2017）
 - ・開催日：2017年2月15日～17日
 - ・開催地：東京ビッグサイト
- 平成28年度光ビームプラットフォーム合同報告会
 - ・開催日：2017年2月27日
 - ・開催地：あいち産業科学技術総合センター

●九州カーエレクトロニクス展示商談会 in 刈谷

- ・開催日：2017年3月1日～2日
- ・開催地：刈谷市産業振興センター

2. 人材育成

2011年度から開始したインターンシップ研修生については、久留米高専専攻科1年生の生徒1名を受け入れ、一般事務やビームライン利用支援の研修を行ってもらったほか、自身の研究課題によりビームラインを利用した実験も行ってもらった。

また、鳥栖西中学校2年生の生徒3名を職場体験として受け入れ、総務課、利用企画課の業務補助を行ってもらった。